



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

教 育

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館基本計画 策定委員会の検討内容について

問 国宝・重要文化財の公開は、高度な設備と維持費・専門体制が必要、基本構想ではそのような記載がなかったがなぜか。

部長 富士宮市は、絹本著色富士曼荼羅図や刀剣や脇差しが直接見られない。市民には本物を見てもらう事が必要。策定委員会と検討し、国宝・重要文化財が展示できる施設を目指したい。

市長 超一流の国宝級の物をどんどん展示することは毛頭考えていない。

問 策定委員会の中では、重要文化財を扱うとうたわれている。部長もそういつているが。

市長 絹本著色富士曼荼羅図は複製・**レプリカ**^{※4}で十分。レプリカもそっくりだから。

意見 市長の言葉とは思えない。そんな中途半

端な気持ちでは何のために博物館を建てるか分からない。今まで本物を見せたいから博物館を建設したいと言っていたのにレプリカでいいというのは市長の問題発言ではないか。

問 駐車場が足りなくなる。代替案はあるか。

部長 調査した結果、令和6年度は一日平均37台、正月とお祭りの時だけ満杯になる。

問 イベントが重なった時に駐車場が無くなってしまった経験が1度や2度でない。

町屋型宿泊施設も建設予定だが、駐車場が本当に足りないと思うがいかがか。

市長 きらら駐車場は、最初は3台だったが、すぐ所有者と交渉し105台までにした。大事な土地だから駐車場なんかにしておけない。「きらら」でもそんなに使っていない。商店街はそれぞれが駐車場を用意なくてはいけない。あれだけの一等地を商店街だけが使うのではなくて市民全体が使えるようにしたい。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

財 政
保 健 福 祉
病 院

都市計画税は市民の未来を描けているか？

問 都市計画税は都市計画事業にどの程度充てられているのか、市として都市計画税の使途を地域別に整理し、“見える化”する取組について伺う。



部長 市民へのより分かりやすい情報提供の必要性は十分に認識しているので、引き続きホームページにおける都市計画税の掲載内容の充実にも努め、可能な範囲で見える化できる手法を研究していく。

“生んでよし”のまちを、実感できるまちへ

問 市民が「富士宮で生み育てたい」と思える環境づくりに向けて、今後どのような改善策を検討しているか。

部長 妊産婦の中には、「市立病院は医療が必要な妊婦が出産する病院だと思っていた」、「通常の妊婦も市立病院で出産できるなんて知らなかった」といった声もあったため市立病院での出産に対する正しい情報、メリットなどの周知について努めていく。

病院長 トイレや浴室の整備、及びママランチのサービスなどを充実させながら増やしていくことに取り組んでいる。

今年度からSNS

を活用してインスタ等でいろんな情報発信をすることを、病院として取り組んでいる。市民の皆さんに当院

が普通分娩でも快適で、ほかよりは安価で出産できることを発信して、妊婦の利用を増やしていきたい。

